

八潮地区の人口の推移と第 17 回品川区世論調査結果（八潮編）

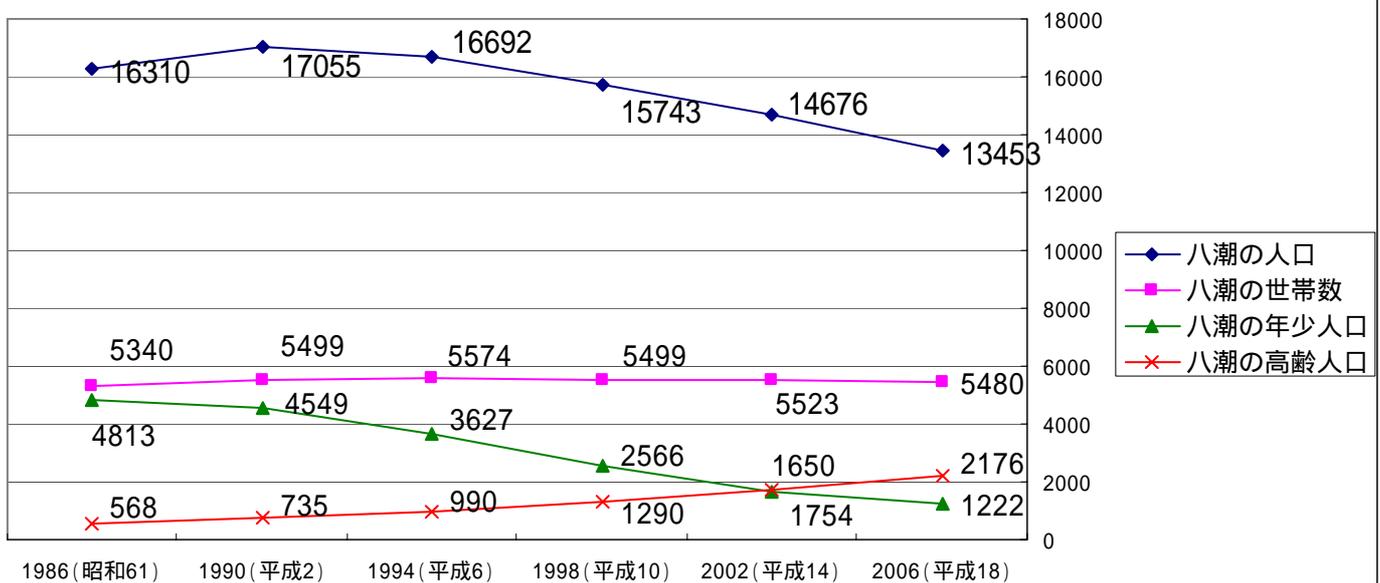
< 人口の推移 >

1983 年（昭和 58）八潮パークタウンが開設されて 24 年、この間の人口の推移は、入居完了後、1986 年（昭和 61）の 16,310 人から 13,453 人（2006 年・平成 18）となっています。なお、世帯数はほぼ同数です。2002 年（平成 14）を境に年少人口（0～14 歳）と高齢人口（65 歳以上）の逆転がみられます。

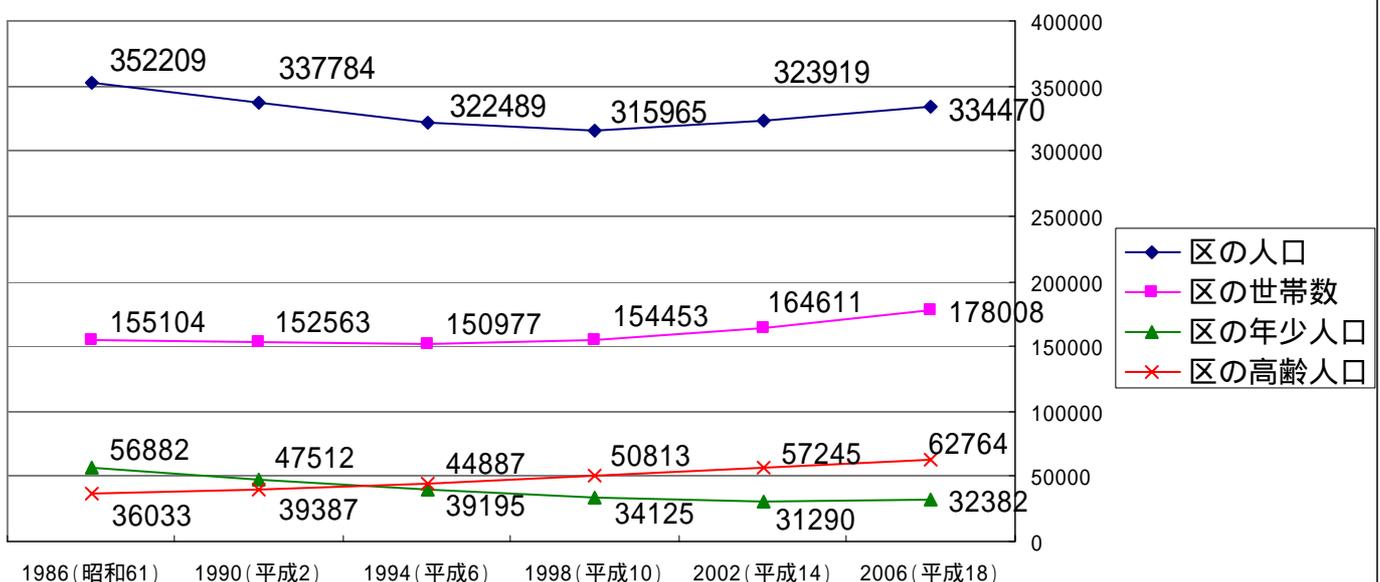
一方、品川区全体の人口は、315,696 人（1997 年・平成 9）を底に回復傾向、世帯数は増加傾向にあります。1993 年（平成 5）以降、高齢人口が年少人口を上回っています。

出典：住民基本台帳 毎年 1 月 1 日現在

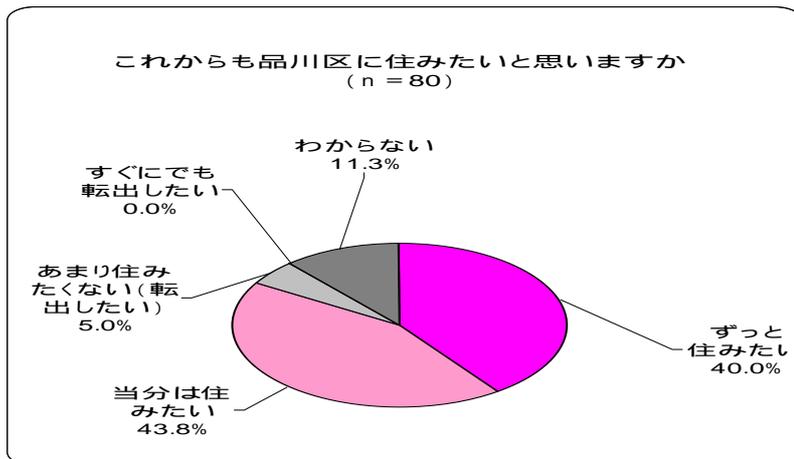
八潮地区の人口・年少人口・高齢人口の推移



品川区全体の人口・年少人口・高齢人口の推移



品川区に住み続けたい八潮在住区民は、83.8%（はひとつ）



「ずっと住みたい」40.0%
 「当分は住みたい」43.8%
 83.8%の八潮の区民が定住を望んでいる。
 「ずっと住みたい」前回比8.9ポイント上昇。
 転出意向は下降傾向。

住みたい理由ベスト3

- 第1位「土地になじみや愛着があるから」59.7%
- 第2位「周囲の環境が良いから」46.3%
- 第3位「交通の便が良いから」43.3%

今後、特に力を入れてほしい施策は何ですか（は3つまで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1986(S61)年	都市整備	老人福祉	再開発による地域整備	公害対策	防災対策
1994(H6)年	高齢者福祉	環境問題	低所得者福祉	住宅対策	生涯学習
2000(H12)年	環境問題	高齢者福祉	防災対策	住宅対策	保健・医療
2006(H18)年	高齢者福祉	環境問題	防災対策	保健・医療	子育て支援

H18年の品川区全体の上位は「高齢者福祉」、「防災対策」、「安全な市街地整備」、「保健・医療」、「環境問題」

周囲の生活環境への評価 上位10および下位10項目

周囲の緑や日当たり風通しなどへの評価が高く、空気の汚れや海川・運河などの水の汚れの評価が低い。

・ 上位10項目

・ 下位10項目

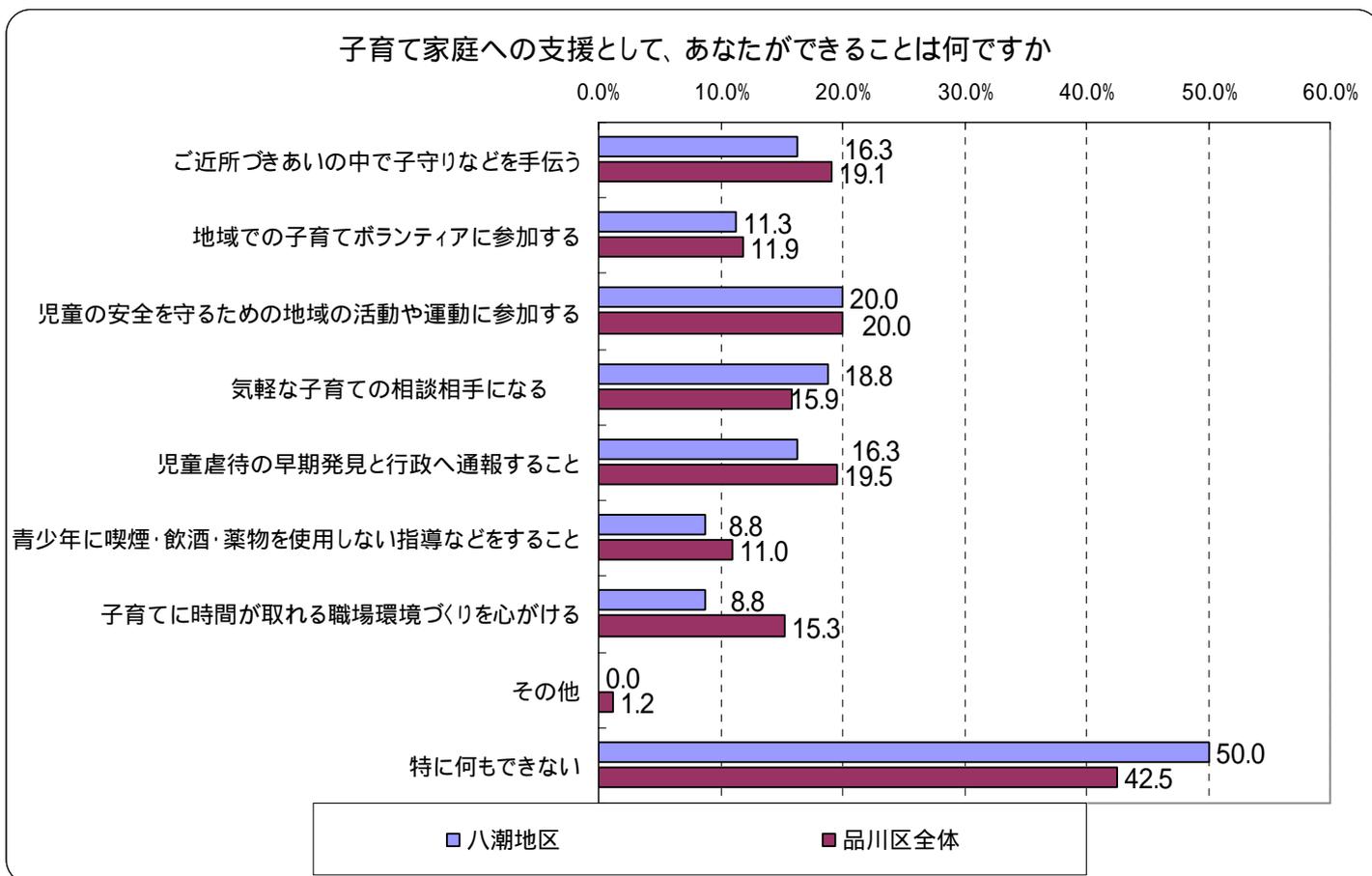
- 1位 (12)周囲の緑は
- 2位 (6)日当たりや風通しは
- 3位 (27)浸水やがけ崩れなどの危険性は
- 4位 (7)景観やまちなみは
- 5位 (5)公園やこどもの遊び場は
- 6位 (24)交通事故の危険性は
- 7位 (4)生活道路の整備状況は
- 8位 (20)図書館や文化施設などは
- 9位 (23)おまつりなどの地域行事については
- 10位 (25)災害の危険性は

- 1位 (9)空気の汚れは
- 2位 (10)海、川や運河などの水の汚れは
- 3位 (16)保健所などの健診や相談は
- 4位 (8)騒音や振動は
- 5位 (15)高齢者のための施設は
- 6位 (14)病院などの医療機関は
- 7位 (22)近所づきあいは
- 8位 (2)買い物の便は
- 9位 (21)スポーツ・レクリエーションの施設などは
- 10位 (24)交通の便は
- (18)障害者のための施設は

評価を5段階に分け、評価点 = (「良い」の回答者数 × 1点 + 「やや良い」の回答者数 × 2点 + 「普通」の回答者数 × 3点 + 「やや悪い」の回答者数 × 4点 + 「悪い」の回答者数 × 5点) ÷ 回答者数 という算出方法を用いて点数化した。したがって、1.00点に近くなるほど評価は高くなり、逆に5.00点に近くなるほど評価は低くなる。

子育て家庭への支援としてあなたができることは何ですか（はいくつでも）

区全体の回答傾向とほぼ同じであるが、「特に何もできない」が8ポイントほど高い。



介護保険について「あなたが高齢になった時、望む介護は何ですか」（はひとつ）

半数近くの人が自宅での生活を望む。

